

# 声 Voice

朝日新聞 2020年（令和2年）9月3日（木）

## 頑張り認めてくれる人現れる

大学生 下碓 美来

（大阪府 20）

2年前、大学入学と同時に弓道部に入りました。三十三間堂（京都市東山区）で毎年1月に開催される、弓道初段以上の新成人による華やかな「大的全国大会」に参加するのが夢でした。

初心者は的前には立たせてもら

えません。矢を持たずに弓を引く

ことから始めますが、比較的力のいらない軽い弓を引くこともままなりません。2カ月ほど練習して、重い弓も引けるようになり、矢を持つ形ができてきました。1年生の夏合宿では巻きわらに矢を射ち続けました。その姿をずっと見てくれていた先輩に認めら

れ、的前に立つことを許されました。やっとスタートラインに立てた思いがしてうれしかったです。

練習を重ね、昨年の夏に初段に昇格。そして今年1月、念願の大会に出場できました。

コロナ禍で8月下旬まで練習ができませんでした。試合もなく、もどかしい日々が続く後輩たちには「努力は報われるとは限らないけれど、頑張りを認めてくれる人は必ず現れる」と伝えたいです。

承諾番号「20-3476」

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。